

# スポーツ科学の可能性とその限界

## —実践としてのスポーツ科学—

130年を越す歴史を持つ専修大学は、スポーツの強豪校としても知られている。中でもスピードスケート部はオリンピックや世界選手権のメダリストをはじめとする数々の名選手を輩出し、世界的にもその名を轟かせている。スピードスケート部を世界レベルにまで到達させたのが、前嶋孝氏（法学部教授）である。前嶋氏は最先端の運動生理学を競技現場に取り入れて選手の強化を図り、近年では常識的になってきている低酸素トレーニングも世界に先駆けて競技現場に導入した。専修大学5号館にある「常圧低酸素室」は、現在もスピードスケートをはじめとする体育会の学生が活用し、成果をあげている。第1部では、「世界への挑戦 専修大学スピードスケート部とともに」と題し、これまで専修大学で築き上げきた前嶋氏のレガシーを振り返る。

第2部では、ゲストに結城匡啓氏（信州大学）と杉田正明氏（三重大学）を迎え、前嶋氏とともにディスカッションを行う。結城氏はバンクーバーオリンピックのメダリストを育てた指導者であり、杉田氏はJOCの科学サポート部門長として、オリンピックをはじめとする国際競技大会医科学サポートのスペシャリストの一人である。両氏と前嶋教授を交えたシンポジウムでは「スポーツ科学の可能性と限界 - 現場での科学」と題し、日本で有数の指導者・研究者によるディスカッションを行い、現在のスポーツ界が抱える問題について競技現場と科学者の立場から明らかにしていきたい。

### ◎第1部 基調講演 『世界への挑戦 専修大学スピードスケート部とともに』

**前嶋 孝**（法学部教授／元専修大学社会体育研究所所長）

### ◎第2部 シンポジウム 『スポーツ科学の可能性と限界 現場での科学』

シンポジスト

**前嶋 孝**（法学部教授／元冬季オリンピックスピードスケート代表コーチ）

**結城匡啓**（信州大学教育学部教授／日本スケート連盟スピードスケート強化副部長）

**杉田正明**（三重大学教育学部教授／日本オリンピック委員会科学サポート部門長）

コーディネーター

**久木留 毅**（文学部准教授／日本オリンピック委員会情報戦略部門長）

平成23年10月13日(木) ●専修大学生田キャンパス10号館・10301教室